

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Kimihiro Kid's			
○保護者評価実施期間	2025年1月17日 ~ 2025年2月10日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数)	11
○従業者評価実施期間	2025/1/17 ~ 2025/2/10			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 25日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育プログラムや日々の対応については、概ね好評いただいているようで良かったです。利用児が楽しんでもらえることが第一だと思いますので、これからも楽しみながら成長してもらえばとおもいます。	楽しんでもらしながら社会性を身に着けてもらいたいと思っています。個性によってアプローチは異なりますが、「終わりの会の先生のお手伝い」というアプローチは全員に好評でシャイな利用児も積極的に人前で話すことができます。	新しい事業所ではうんていがあります。筆圧や運筆力に影響を与える総合的な手の力を鍛えることができると思います。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご家庭が抱える課題改善に向けて時間をかけたいと思います。	今年度は新規開所ということもあってか、新規のお問い合わせ対応に追われてしまった印象がある。	職員研修により、子どもだけではなくご家族の支援方法も学びたいと思います。
2			
3			

公表 者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	Kimihiro Kid's						公表日	2025年3月26日	
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	回収数	利用児童数 13名(13家庭) 13家庭
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	1	1	1	・利用を始めて以降、一度も事業所に行く機会がなく、中の状況がわからない為 ・小学校入学以降のお子さんが多いので少し狭いのではと思うところもある		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9	1	0	2			
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。	8	0	0	4	・利用を始めて以降、一度も事業所に行く機会がなく、中の状況がわからない為		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。	8	0	0	4	・利用を始めて以降、一度も事業所に行く機会がなく、中の状況がわからない為		
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援を行っていると思いますか。	10	0	0	2			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8	1	0	3			
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に把握されていると思いますか。	12	0	0	0			
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の実践」に基づいて作成されていると思いますか。	10	0	0	2			
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	0	0	1			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	0	0	0	いつも違った活動を考えてくださいありがとうございます。		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこども支援事業所との連携が取れていないかと思いますか。	5	0	2	5			
保護者との連携	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等に明確な説明がなされましたか。	11	1	0	0			
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9	1	1	1			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)が実施されていますか。	1	1	3	7			
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況を定期的に共有されていますか。	12	0	0	0	・利用中の様子を実際に見る、もしくは動画等で見てみたい ・アプリの利用を始めた事で、これまでの口頭や紙の連絡帳よりも細かい内容を伝えやすくなった		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	3	1	1			

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	0	0	1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の連絡が取れていて、安心感を感じますか。	0	0	5	7	・きょうだい児への関わり方やフォローの仕方を知りたい ・そういうった案内はなかったと思うが特に問題ないと考えている	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されていると思いますか。	9	1	0	2		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等を周知されていますか。	7	1	1	3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	0	0	1		
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル等を整備されていますか。	7	0	0	5	・訓練まではわからないが、特に問題ないと感じている	
非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が実施されていますか。	5	0	0	7	・訓練まではわからないが、特に問題ないと感じている	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等の体制が整備されていますか。	9	0	0	3		
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や対応がなされていますか。	9	0	0	3		
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	10	2	0	0		
満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	8	4	0	0	・とても楽しく通わせて頂いており、自己肯定感も上がっています。 ・「今日はキミイロさんだよ」と伝えるととてもうれしそうに笑顔になります。 ・行つて帰ってきた際は楽しかった！といつも言うが、行く前は行き渋っている事が多い。	毎週土曜日利用のお子様からは、一部療育時間の長さから行き渋ることがあるとお聞きしています。とはいっても、利用児も事業所に入ると楽しく過ごしています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	2	0	0	・土曜や祝日には自宅で中々できない体験(特に料理)などがあり、とても良い刺激になっていると思います。いつもありがとうございます!!	

公表

所における自己評価結果

事業所名	Kimihiro Kid's					
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	・自発児と報デイを両方預かっているので教室を分けるとベスト・運動やお勉強など充分なスペースが取れている	新しい事業所を開所し、今より広くなります。未就学児は全員そちらに移籍しますので、より広い空間で療育できます
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		・個々に対応が必要なこともできている	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。	6	2	・障害児が軽度な為、特別なバリアフリーにはしていない ・小学生と同じだったりするので、もう少し未就学向けのつくりを提供したいが今の状態でできる事はしていると思う	1の回答と同様です。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、清潔感を保つための取り組みはありますか。	8			
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められていますか。	8			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)は実施されていますか。	8		・朝礼や必要時に行っている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けていますか。	8		・送迎時など話しをしている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映させていますか。	8		・朝礼ノートを活用している	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげていますか。	2	5	・まだ1年目という事もあり、外部評価はない	次年度導入に向けて、外部の方と調整中。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修を行っていますか。	7	1	・職員全員の研修はまだない、一部。	
支援体制	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	6		適切な時期に公開いたします。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者との間で情報の共有を行っていますか。	8			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者が関わっていますか。	8			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われていますか。	8			
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォローアップを行っていますか。	8			

適切な支援の提供	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援計画の作成」の規定に基づいて、児童の個々の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて実施しているか。	8			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		・担当制ではあるが、予定・目的・補助依頼ア、また、前日の振り返りなど、すべて朝礼で共有できるようにしている	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8			
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて実施しているか。	8			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援内容について確認しているか。	8			
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援内容について確認しているか。	8		・朝のミーティングで共有している	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に活用しているか。	8			
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要な場合は、改訂するか。	8			
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との連携を図り、児童の状況に応じて支援内容を調整しているか。	7	1		
関係機関や保護者との連携	25 地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育等の機関との連携を図り、児童の状況に応じて支援内容を調整しているか。	7	※無回答 1		
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進に取り組んでいるか。	8			
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で連携を図り、児童の状況に応じて支援内容を調整しているか。	2	7	・今年の4月からなのでまだ実施できていない ・就学に向けての移行がこれからなのでまだ今はできていない	
	(28~30は、センターのみ回答)				
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等との連携を図り、児童の状況に応じて支援内容を調整しているか。				
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じて支援内容を調整しているか。		5		

保護者への説明等	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもの状況を把握する機会がある	1	※無回答 1	・開所1年目なのでまだ活動の機会はない ・希望しない保護者も多い見込みの為、積極的に機会を設ける予定はない	
	33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況を把握する機会がある	8		・送迎の時など、その日の様子や成長した事など共有できている	
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム等を実施する機会がある	1	7	・まだその機会がない	
非常時等の対応	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がある	8			
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の疎通を図る機会がある	8			
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者の理解を図る機会がある	8			
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応する機会がある	8			
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連絡を図る機会がある		※無回答 1	・まだその機会がない	
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整える機会がある	8			
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動の情報発信を行っている		8	・HP、SNSはしていないが、行事予定や連絡体制については、保護者向けアプリ「HUG」を導入し、強化しました。	
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための機会がある	8			
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている		※無回答 1	・まだ参加型の機会がない	
非常時等の対応	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、火災対応マニュアル等の整備がある	8			
	46 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備える体制を整えている	8			
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認する機会がある	8			
	48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応を行っている	8			
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な対応を行っている	8			

心	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全確保のための取り組みについて	8			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について	7	1	・起きた事由の把握はできているが防止に向けた策は必要に応じて感じる	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応について	8			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的取り組みについて	8			